

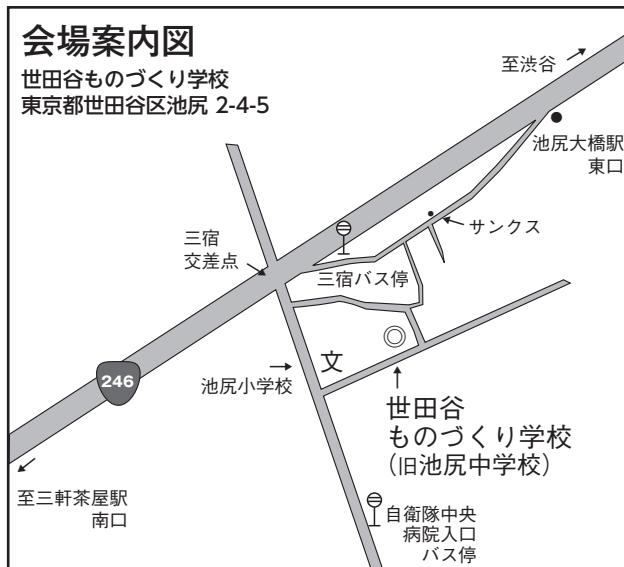
「ひと」塾 2013

授業の名人たちが、 世田谷ものづくり学校に やってくる



会場案内図

世田谷ものづくり学校
東京都世田谷区池尻 2-4-5



参加費：2日間＝1万円 1日のみ参加＝5千円

大学生＝半額 小学3年生～高校生＝無料（申込先着20名）

当日受付にてお支払いください。

1日目の夜に交流会をおこないます（飲食費別途）。

主 催：「ひと」塾準備会

メール mail@hitojuku.info Web サイト <http://hitojuku.info>

Tel 03-3815-0605 Fax 03-3815-0698 (太郎次郎社エディタス内)

申込：下の項目をFax、メール、郵送などでお送りください。

定員60名に達し次第しめきり。

「ひと」塾 2013 参加申込書

参加区分	一般	名	大学生	名
		高校生以下		名

お名前

ご住所

Tel

Fax

E-mail

参加日程 ○をつけてください

1日目

2日目

交流会

電車の場合：東急田園都市線「池尻大橋」駅下車、徒歩10分
または「三軒茶屋駅」徒歩15分

バスの場合：渋谷駅西口 東急バスターミナル

21番乗場から下馬1丁目循環行（渋31系統）（渋32～33系統でも可）
に乗車10分。バス停「自衛隊中央病院入口」より徒歩約5分

31番乗場から田園調布行（渋11系統）に乗車10分。バス停「三宿」より徒歩約7分



こんな授業があったんだ！ 大人も驚くような深い内容をやさしく学べる授業。ただ先生の話を聞くだけではなく、自分で考えて、話して、ためしてみて納得する授業。そんな授業を長年つくってきた「名手」たちが、そのエッセンスを実演します。
ともに学ぶ授業と、学びをとりまく現在を知る講演・講座がつまつた2日間です。どうぞご参加ください。

日 時：2013年11月23日（土）10時00分～18時
24日（日）10時00分～18時

会 場：世田谷ものづくり学校（渋谷駅よりバス10分）
東京都世田谷区池尻 2-4-5

プログラム マークのプログラムは子どもと一緒に学ぶ授業形式でおこないます。
高校生以下の参加無料（要申込・先着20名）子どもの途中退席は自由です。

23日

- 「ウラニウムってなに？」平林浩（出前教師・科学）
- 「使える！ 日本語文法」伊東信夫（国語教育研究家）
- 「統計・教科書をバージョンアップする手法」千葉保（國學院大學 社会科教育法）
講演「足尾鉱毒・水俣から福島へ」菅井益郎（國學院大學 日本経済史・公害史）

24日

- 「折り紙で挑戦 手で理解する無理数」江藤邦彦（元・高校数学教員）
- 「オモシロ漢字あそび教室」今村公一（中学校教員）・伊東信夫
講座「地域の宝をフル活用！ 総合学習の作り方」平林麻美（小学校教員）
講演「教育の取材から考えたこと」氏岡真弓（朝日新聞編集委員 教育担当）

「ひと」塾 2013 タイムスケジュール

23日(土) 開場 9:30 開会 10:15

10:30～ウラニウムってなに？

原発の燃料であり、原爆の材料にもなるウラニウム。元素としてみれば、地球上でもっとも重い金属です。どんなところに、どんなかたちで、どのくらいあるのでしょうか。化学物質として、放射物質としての性質をみてみましょう。



平林浩 1988年まで小学校教諭。退職後は「出前教師」として、地域の子どもやおとなに科学とのづくりのしさを伝えている。著書に『作って遊んで大発見！不思議おもちゃ工作』『授業・科学をたのしむ』など。

11:40～使える！日本語文法

「まもなく、1番線ホームを列車が……」「2番線ホームに列車が……」さて、乗れるのはどっち？感覚的には誰もが理解している日本語の文法。論理だけで理解できれば、読解もグンと深くなります。教室で使えるプリントも配布。

昼休み



伊東信夫 漢字研究家、教育実践者。1947年から91年まで、長く教職にたずさわる。80年代後半より白川文字学に学び、漢字の世界を伝えるために研究をつづける。著書に『漢字なりたちブック』シリーズなど。

13:50～統計・教科書をバージョンアップする手法

このごろ「最強の学問」とも称され話題の統計学。キーになるのは難しい数学処理よりも、独自の視点でデータを集めめる方法です。小学生でもできる手法で統計を考えましょう。



千葉保 國學院大学講師。神奈川の小学校教員、校長を経て現職。「コンビニ」「ハンバーガー」「カード破産」など、身近な題材を社会の問題へつなぐ授業を数多くつくる。著書に『はじまりをたどる「歴史」の授業』など。

15:00～足尾鉱毒・水俣から福島へ

「××は、多少の害はあっても日本の産業に不可欠だ」「少量の△△はかえって体にいい」「被害と□□の因果関係は不明。ストレスのせいでは」。この歴史から何を学びますか？ 田中正造研究を続けてきた菅井さんに聞きます。



菅井益郎 國學院大学教授。渡良瀬川研究会代表。市民エネルギー研究所研究員。歴史研究を通じ、近代の発展がもたらした抑圧や歪みを問い合わせてきた。著書に『通史足尾鉱毒事件 1877-1984』など。

16:10～質疑応答・ディスカッション

19:00～交流会

各授業の間に約10分間の休憩があります。

「ひと」塾 2013 タイムスケジュール

24日(日) 開場 9:30

10:00～折り紙で挑戦 手で理解する無理数

分数では表せない。互除法でも測れない。ピタゴラス教団では「禁断の数」とされてきた無理数。でのひらに入る折り紙のなかに、無数に存在しています。手を動かしながら無理数の存在を感じます。



江藤邦彦 埼玉県内の高等学校で長く数学を教える。ひょきんさと哀愁の入り交じる語り口に数学の条理をおりこんだ授業にファンが多い。著書に『法隆寺にひそむ白銀比 五稜郭にひそむ黄金比』など。

11:10～オモシロ漢字あそび教室

白川静博士の故郷・福井県で大人気の漢字教室を出前します。抱腹絶倒(?)の講義で成り立ちを学び、カードやパズルで遊びながら、漢字の仕組みとつながりを発見。実際に漢字おもちゃを作りし、みんなで盛り上がりましょう！



今村公一 福井県・中学校教員。県教育庁生涯学習・文化財課で「白川文字学」に関する講座の講師をつとめ、「白川静博士の漢字の世界へ」の執筆を担当。著書に『福井発 オモシロ漢字教室』など。

12:10～質疑応答・ディスカッション

昼休み

14:00～地域の宝をフル活用！総合学習の作り方

「学校帰りに二度と同じ道は通らない」という平林さんが、学区探険からはじめる「総合」のつくり方を提案します。今回訪れたのは、学校から7分の大森貝塚。地域の歴史とモースの魅力に迫る、驚きに満ちた授業づくりの行方は！？



平林麻美 東京都・小学校教員。ノリ漁、東京大空襲、河川の歴史など、赴任した学区ごとに地域の話を直接聞きながら、子どもとともに学ぶ授業をつくる。共著に『エネルギーと放射線の授業』など。

15:00～教育の取材から考えたこと

全国各地をとびまわり、学校の内外で教育の姿を取材してきた氏岡さん。大型連載「教育あしたへ／先生の挑戦」を今春に終えられました。学力論争、いじめ、多忙化、教科書採用……。いま、現場の課題がどこにあるかを伺います。



氏岡真弓 朝日新聞編集委員（教育担当）。東京社会部、論説委員、編集委員を経て現職。子どもの荒れや学級崩壊、学力問題、教育の格差問題などを取材してきた。共著に『いま、先生は』『学級崩壊』など。

16:00～質疑応答・ディスカッション

各授業の間に約10分間の休憩があります。